

鍋横かわら版

発行：鍋横区民活動センター運営委員会

〒164-0012 中野区本町5-47-13

TEL：03-3383-2733 FAX：03-3383-2734

メール：nakano_nabeyoko@chic.ocn.ne.jp

HP：http://www.nakano-nabeyoko.gr.jp



「わたしたちのまち再発見」

～まちの良さを知ろう 伝えよう～
中野本郷小学校5年生の総合的な学習の時間より

昨年12月に中野本郷小学校で行われた研究発表会に地域の皆さんがゲストティーチャーとして招かれました。5年生の子どもたちが調べた鍋横の歴史や産業、活動等の発表や話し合いの中で、地域の人たちが次世代に伝えたい思いを紹介します。



神田川に染め物の歴史あり!

神田川は神田上水の飲料資源であり、その流れに染め物関係の多くの人たちが集まってきて小紋染めが盛んに行われました。また私が子どもの頃は、ドジョウやヤツメウナギを捕ったりして、わくわくする遊び場でした。11月に「わくわく隊」の子どもたちが 神田川から善福寺川探検でザリガニを捕まえた話から昔を思い出しました。子どもたちが神田川に興味を持って勉強していたことをとても嬉しく思います。



千代田町会 関 正行さん



伝統と日本の文化 みんなの宝

本郷氷川神社の創建は戦国時代の文明元年(1469年)、戦国武将である太田道灌が、江戸城鎮護のため大宮氷川神社より勧請したのが始まりとされています。ご祭神は素戔鳴尊(スサノノミコト)、地域を守る本郷村の鎮守社です。社殿前にある一對の狛犬は親子の姿です。事前に神社を訪ねてくれた子どもたちに、大人になっても「神社を大切にしてください」とお願いしました。



本郷氷川神社宮司 中田憲文さん

地域の歴史は面白い!

なべよこ観察隊は教科書には載らない地域の人たちの小さな歴史を聞き取り残す活動です。鍋横で生まれ、生活し、鍋横の移り変わりを見てきた人たちの営みを「見たい!聞きたい!記録したい!」。鍋横のことを調べることで、地域を愛する気持ちが子どもたちの中に受け継がれ、繋がっていくことを願っています。



なべよこ観察隊 能津恵子さん

わがまち♥なべよこ

歴史がいっぱい東京三大横丁 鍋横商店街 今年もSDGsのなべよこ夏まつりに!

50年以上続いている「なべよこ夏まつり」はコロナ禍の為、この2年は中止となっていますが、子どもたちも楽しみにしているイベントです。また鍋横の歴史や商店にも関心を持ってきていて、とても嬉しく思います。コロナ禍とSDGsの観点から、今後はゴミが出ない・出さない夏まつりにチャレンジしたいと考えていますので、子どもたちの目線でのアイデアを期待しています。



鍋横商店街 振興組合 樺 賢治さん

挨拶を交わして安全守ろうね

宮里町会で「通学路安全運転呼びかけ隊」が発足したのは、平成30年9月でした。月一回の学校公開日に、町会役員 20 名が通学路に立ち安全を呼びかけています。5年生のグループが色々調べてくれた結果を話し合い、「挨拶を交わして安全守ろうね」という標語ができました。



宮里町会 杉下文昭さん

子どもたちとわくわく楽しい活動を! 学び、育てるミニリーダー

イベントはどのように企画され準備をしていくのかという子どもたちの質問がありました。地区委員会の大人たちは子どもたちの安全を考え話し合い、準備して進めていきます。我々の活動は地域で子どもたちを見守り、学び、育てる活動です。何よりも子どもたちの成長を楽しみにしています。



青少年育成 鍋横地区委員会 富田政則さん

ミニリーダー講習会「わくわく隊」：小学校4～6年生が年間を通して学校や家庭ではできない様々な体験をしながら仲間づくりを行っている。

安心・安全 楽しく協力 笑顔あふれるみんなの町会

鍋横地域には6つの町会があり、まちを守るため、まちを良くするために大人たちが協力して活動しています。町会行事は地域の人々が触れあう機会です。たいへんなこともありますが、行事を無事終えて笑顔で別れる時は幸せな気持ちに包まれます。



宮里子供と共に 進む会 松下都貴絵さん

皆さんもぜひ、町会の活動にご参加ください!

コロナ禍で皆さんマスク姿です。子どもたちが地域の人と触れ合う機会が少なくなっている昨今、貴重な機会となりました。

地域をサポート! 鍋横区民活動センター

区民活動センターは地域自治の活動拠点としての役割を果たしています。区民の方の活動を支援し、相談を受けたり繋いだり、またアウトリーチ活動(高齢者の方などにこちらから出向いて相談等を行う)等を行いながら、これからも地域の皆さんにとって身近な場所であり、存在であるよう努めていきます。



中野区職員 石井祥太さん